

災害に備えよう

長かった夏休みも終わり、2学期が始まりました。一日も早く規則正しい生活のリズムを取り戻していきましょう。

さて、9月1日は「防災の日」です。全国の自治体でも大きな災害を想定した訓練が行われますが、今回は「千年に一度の災害に備えよう」というテーマで考えていきたいと思います。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災で、多くの人たちが尊い命を失ったことは、私たちの記憶にまだ新しいことと思います。想定をはるかに超えた巨大津波が押し寄せ、逃げ遅れた人たちが多数いるなか、岩手県釜石市の小中学生は、ほぼ全員が助かりました。

大きな揺れの後、「津波が来ても、どうせ、いつものようにたいしたことはないだろう」とのんびりかまえる大人たちに、子どもたちは「大きな地震の後には、大きな津波がやってくる。早く、高台に逃げよう」と必死に訴え、素早く行動したことが、自分の命を、家族の命を守ることに繋がったのです。

このことは「釜石の奇跡」と言われていますが、インタビューに答えた6年生は、「奇跡」ではなく「実績」ですと答えています。きっと、日頃から学校で、「津波や大地震がきたときどうすればよいか」という避難訓練「学校の外にいた時の避難場所や危険個所を自分の足で調べて地図をつくる」などの学習を積み重ねてきたことが、成果となって表れたのではないのでしょうか。

日本は世界有数の地震国です。今後も大きな地震が起こることは十分に考えられます。国の有識者会議が公表した「南海トラフ巨大地震」が発生した場合の被害は、最悪死者32万人という想像を絶する想定でした。一方で、津波などに備えた防災対策や迅速で的確な避難により、死者を6万人程度に減じることができるとも予想されています。

災害はいつ起こるかわかりません。先生や大人が常にそばにいるとは限りません。

釜石市の子どもたちのように、災害から自分の命や大切な人たちを守るために、「日頃からの備え」と「災害が発生した時の冷静な判断と素早い行動」ができる児童・生徒になってほしいと思います。

おいしくいただきました

7月5日（水）に調理実習を実施しました。調理をする手順を考え、計画的に実行する力を身につけるために、ピザと抹茶プリンを作りました。ピザ生地は自分で粉からこねて発酵させて形を作り、その上につばさ教室で栽培したトマトやインゲンやナスなどをはじめ、いろいろな具をのせて、みんなで協力し合い、楽しく調理しました。自分でトッピングした手作りの焼きたてのピザを、おいしくいただくことができました。実習の内容を家庭生活でも実践し、活かせるようにしていきましょう。



泡洗顔の大切さがわかりました

7月13日（木）体験授業を実施しました。資生堂ジャパン株式会社の円地知子さんを講師に迎え、思春期の誰もが経験する「にきび」など、肌への不安や悩みに自ら対処できるように、正しい洗顔の仕方を学びました。泡で洗顔をすることで、肌に優しい上に、汚れもよく落とすことができるということを知り、そのあとに実際に洗顔せっけんで泡をたて、実際に腕を洗ってみました。最初はどうすればいいか不安な様子でしたが、みんなうまく泡立てることができ、泡の滑らかさと清潔にする心地よさを体験することができました。この体験を今後に活かし、常に清潔な身なりを意識して生活してほしいと思います。



==== 9月の予定 =====

**防災の取り組み
引き取り訓練
外国語活動
育児体験**

9月4日（月） 防災の学習をし、避難訓練の後、非常食の試食をします。

9月4日（月）～8日（金）

9月6日（水）、20日（水）

9月14日（木） 助産師さんの講話の後、育児についての話を聞きます。